

知って得する お香の話

昔から、日本の文化というものは、他国と一線を画しているものが数多く存在します。そんな中、香りの文化もまた、時代と共に日本独自の発展を遂げてきました。中国から、仏教と共に伝えられたといわれる「香」。元は、お祈りの香りとして用いられていました。それが、いつしか日本の生活文化の香りとなり、「香」の香り自体を楽しむ文化が生まれました。空間に香りを広げて心身をリラックスさせ、美徳を高めることに用いることで、人々に定着したというわけです。香りの効果とは、具体的にどういったものなのでしょう？

日本人は、昔からお仏壇参りやお墓参りの際に、線香を焚く習慣があります。小さい頃から慣れ親しんだお香の香りは、どこか懐かしく幼少期の淡い記憶を思い出させてくれます。瞑想の際に使用することもあるため、気持ち落ち着かせることに関しては、群を抜いた効果を発揮するとも言えます。お香には、心身に働く効用以外にも、様々な効果をもたらすことがわかっています。例えば、みなさんも一度は見たことがあるはずの「蚊取り線香」。実は、これ

もお香の一種です。お香の芳香成分が、**虫除け**に効果的なんです☆部屋でお香を焚けば、あらかたの虫は寄せ付けません！他には、お部屋の**消臭効果**や**除湿効果**も認められています。嫌なニオイを取り除くというよりも、お香のおかげでニオイを感じさせないといった方が正しいでしょう。お寺に行くと、外より中の空気の方が、どこかすっきりとした印象を受けます。あれは、常にお香を焚くことで、空気の湿気を取り除いているからなんです。凜とした空気が漂っているのも、実はお香が大きく関係していると言っても過言ではないというわけです。



〈お香とアロマの違い〉

アロマで使用される精油（エッセンシャルオイル）は、天然の植物から抽出される液体の芳香成分です。それに対し、お香は主に「香木」と呼ばれる樹木または葉を原料として作られた固形の芳香物質です。アロマは、間接的に熱を与えることで空間に香りを広げることが一般的ですが、お香の場合は直接火を灯して香りを広げることが大半です。このように、精油に比べ熱を与えないと香りが立たないものが多いのも、違いの一つと言えます。

お香を焚くことでリラックス効果・浄化作用もあり、お寺の方々には穏やかで私達にやすらぎを与えてくれる心のゆとりもあつたりするのかもしれませんが。

天峰建設の情報・画像が
QRコードで見られます



株式会社 天峰建設
TEL: 042-250-0010